

2020年の遠野市が、次の世代につなぐべきもの 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組み

1 残すべきレガシー

テーマ	ねらい・目指すべき姿
スポーツ	・スポーツを「する人」「観る人」「支える人」の増加
国際交流	・日本の文化発信 ・地域の活性化 ・特色ある地域づくり
共生社会	・誰もがバリアを感じない社会 (施設・心のバリアフリー、多様性に関する理解)

2 経緯

ホストタウン【登録件数227件、自治体数282、国・地域95（4月27日現在）】

●大会参加選手、相手国関係者、日本人オリンピックとの交流

2017年12月11日登録（第五次登録）

相手国：ブラジル
種目：視覚障害者5人制サッカー

2020年を契機に、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る

共生社会ホストタウン【登録自治体数13】

●パラリンピアンとの交流をきっかけに、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーの取組み実施
●地域主導の共生社会パラリンピック機運醸成

2018年5月29日登録

地域の活性化、観光振興、スポーツ立国、国際化の推進等

3 取り組むべき事項

■スポーツ交流

日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流、障害者スポーツ理解（体験会・イベント）

【2018年度】

- ・あすチャレ!school（小学校3校、中学校1校）
- ・ブラインドサッカー体験等実施予定（小中学生、一般向け）
- ・各種イベントでのパラスポーツ体験（ブラインドサッカー、ボッチャ等）

心のバリアフリー

心のバリアフリー

心のバリアフリー



■事前合宿

- 2018. 7月11～13日 ブラジル視覚障害者5人制サッカー関係者視察来遠
- 2018. 8月23～29日 ブラジル訪問
 - ・ブラジル岩手県人会創立60周年・県人移住100周年記念式典
 - ・視覚障害者スポーツ連盟・パラリンピック委員会
- 2019. 夏、2020夏 ブラジル視覚障害者5人制サッカー選手団合宿

■その他【2018年度実施予定】

- ・文化交流 異文化学習（文化・歴史・教育等）
- ・共生社会（多様性を尊重する意識や態度の醸成） 義足体験授業（小学校1校）、障害者理解研修の実施 等

心のバリアフリー



ブラジル視覚障害者5人制サッカー関係者視察来遠【2018.7.11-13】

■練習会場、宿泊会場等視察

・国体記念公園市民サッカー場、遠野市民体育館、稲荷下屋内運動場 等



■子ども達との交流・昼食

・遠野中学校生徒との交流、
・ブラジル料理による交流給食



■覚書締結式

遠野市とブラジル視覚障害者スポーツ連盟における事前合宿等に係る覚書の締結



遠野市交流計画の概要

遠野はサッカーを通じて、ブラジルを応援する。

団体名	岩手県 遠野市
相手国・地域	ブラジル

2017～
(大会開催まで)

2020
(大会中)

2020～
(大会直後～)

スポーツ交流

選手や関係者等との交流

- 日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流
- ブラジル選手を招き、競技理解と交流 (大会までの間、年1回程度)
- 障害者スポーツの理解 (競技体験・イベント等の開催)
- 障害者サッカーの普及



事前キャンプ受入れ



相手国選手関係者との交流

- ブラジル選手による大会報告会などの実施



文化交流

相手国関係者との交流

- ブラジルを市民に周知する講座・展示
- 文化・歴史・言語等の学習
- 都市間交流の促進
- 日系移民の歴史学習



相手国選手関係者との交流

- ウェルカムパーティの開催 ※可能であれば
- ブラジルの応援



経済交流

交流促進から発展した経済交流

- 農業や産業についての情報交換や関係者の相互往来
- 相互の特産品等を活用した商品開発、宣伝展開



環境整備

施設改修など

- 競技施設の施設改修
- ユニバーサルデザイン化
- 交通アクセスの改善



スポーツ
文 化
教 育
食 育



継続的に交流

応援はパスだ。
パスは繋がりだ。
繋がりは続いてゆく。